

事業所名

放課後等デイサービス ほっぷ

支援プログラム

作成日

令和7年

3月

15日

法人（事業所）理念		子どもたちの個性を活かし、一人一人にあった支援を行います。							
支援方針		みんなで一緒に笑顔で楽しく、学習・療育・創作活動・遊び 楽しみながら「できた」を増やして「自信」につなげていきます。							
営業時間		10時	0分	から	17時	0分	まで	送迎実施の有無	あり
本人 支援	健康・生活	健康状態の維持や改善、生活習慣や生活リズムの形成、基本的な生活スキルの獲得の支援する。 放課後の居場所となり、心身共に健康に過ごせるよう支援する。 時計やタイマーなどを利用して、時間を意識しながら行動できるよう支援する。							
	運動・感覚	遊びや活動を通して様々な感覚に刺激を与え、感覚を養う。 運動機能、バランス感覚、力の強弱、距離感、様々なからだの感覚・感触に触れ感覚の成長を支援する。 体操、外遊びなどを通して運動能力の向上につながるよう支援する。他児と協力しての活動にも参加できるよう支援する。							
	認知・行動	カレンダーを利用して日にち、曜日、天気を理解できるよう支援する。 大小、数、重さ、空間、時間、文字等の概念の形成を図り、認知や行動に活用できるよう支援を行う。 季節にあった服装、場面にあった行動ができるよう支援する。							
	言語 コミュニケーション	遊びを通して相手の意図を理解し、自分の考えを伝えるなど言語を受容し表出するための支援を行う。 伝わる成功体験を積み重ねることで、伝えたい気持ちや伝わる喜びを感じることで他者とのコミュニケーションの意欲につなげていく。 遊びや様々な活動を通して多くの言葉に触れ、言葉と行動、言葉と物がむすびついていけるよう支援する。							
	人間関係 社会性	小集団での活動で、基本的な人とかかわり方、集団での活動スキルを身に付けていけるよう支援する。 他者とかかわりを楽しみ、同年代や異年齢との関わりを楽しさを知っていけるよう支援する。 アタッチメント（愛着）の形成と安定、遊びを通じた社会性の発達、事故の理解と行動の調整、仲間づくりと集団への参加を支援する。							
家族支援		家族からの相談や悩みなどに対する助言 延長サービス 年2回のモニタリング			移行支援		学校、関係機関との連携		
地域支援・地域連携		相談支援事業所、利用児が通っている保育園、他事業所などと情報共有し連携 を図る。 買い物支援、お散歩などを通して地域と交流			職員の質の向上		定期的な職員研修 毎日のミーティングによる情報共有 支援の中での気づきや変化は職員で共有し積極的に話し合いをしていく		
主な行事等		季節に合わせた行事（プール、花見、お散歩、公園、外出支援など） 誕生会（毎月） 避難訓練（年3～4回）							